

一般会計・特別会計で

80億

市道の舗装・改良に

2億2,300万円

八億三千六十九万円、一四・二六%の土木費が三番目に多くなっています。この土木費は、市道の舗装・改良に二億二千三百万円、橋りょう、河川整備に一億百五十万円、下水道整備事業に二億六千万円を投じ、生活環境の整備充実に努めることとしています。

次に、市民福祉の向上を目指す民生費は、六億六千九百六十七万円が総予算に占める割合は一一・五〇%。前年度に比べ約三千万円増えています。民生費の主な内容は、新年度からベーター病、スモン病などの特定疾患患者に見舞金を贈るため五十五万円を措置したほか、身体障害者医療助成費、老人保護措置費、母子家庭医療助成費、

生活扶助費などが含まれています。

また、花石町の旧建設省日光砂防工事事務所の事務所を所有者から借り受け、三百万円で改築し「老人憩の家」として活用します。このほか、特別会計国民健康保険費へは前年度より一千万円増額した七千万円、老人保健費へも三千九百四十万円をそれぞれ繰出し、被保険者の負担増に対応するなど、両特別会計の健全運営を図ることにしています。

小倉山森林公園の整備と郷土センター(仮称)を計画

市制30周年記念事業

商工費の総額は五億四千七百二十六万四千円。これには、市制三十周年記念事業で実施する小倉山森林公園整備事業に五千万円、同じく記念事業として日光警察署跡地に建設する郷土センター(仮称)の建設計画策定と用地取得費に五千三百万円を措置しました。そのほか、中小企業者の育成強化を図るため、中小企業振興資金の預託枠を拡大することにしました。

観光面では、公衆便所の建設

商工費の総額は五億四千七百二十六万四千円、奥日光登山道の改修に四百万円、湯元園地整備に一千五百五十万円のほか、パードウォッシングコースの設置や外国人への歓迎板を設置し、観光客誘致に努めます。

スポーツの面でも、常設球場、所野本球場、市民ゴルフ場の整備、ゲートボール場の休憩所設置に約四百万円、さらに、細尾、松原、田母沢の各スケートリンクなども九百万円をかけて整備することにしました。

生活環境整備関係の主な事業

- 市道舗装・改良工事……………2億2,300万円
- 橋りょう・河川整備……………1億0,150万円
- 土地区画整理事業……………1億2,100万円
- 下水道整備事業……………2億6,100万円
- 交通安全施設整備……………400万円
- ごみ・し尿収集車購入……………650万円

産業振興関係の主な事業

- 農道・林道整備……………1億6,000万円
- 小倉山森林公園整備……………5,000万円
- 湯元園地整備……………1,150万円
- 郷土センター建設計画作成……………5,300万円
及び用地取得事業
- 霧降リフト貯水槽設置……………500万円